

令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【数学】 学年【1年】担当者 伊原 大志

知：知識・技能
思：思考・判断・表現
態：主体的に学習に取り組む態度

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4	1章 正の数・負の数	1節 正の数・負の数 2節 正の数・負の数の計算 3節 正の数・負の数の利用	知	① 正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 ② 自然数や整数, 素数, 正の数と負の数の大小関係, 符号, 絶対値の意味を理解している。 ③ 正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ④ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 ⑤ 1より大きい自然数を素因数分解することができる。	①正の数と負の数の必要性和意味及びそれらの四則計算の意味を理解している。 ②自然数や素数, 正の数と負の数の大小関係や絶対値の意味を十分に理解している。 ③正の数と負の数の四則計算の方法を十分に理解している。 ④具体的な場面の問題解決に, 正の数と負の数の四則計算を的確に利用することができる。 ⑤素因数分解の意味を理解し, 素因数分解を手際よく求めることができる。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
5			思	① 算数で学習した数の四則計算と関連付けて, 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ② 数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 ③ 正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 ④ 自然数を素数の積として表すことにより, 約数, 倍数などの整数の性質について捉え直すことができる。	①算数で学習した数の四則計算と関連づけて, 正の数と負の数の四則計算のしかたを考え表現することができる。 ②数の集合と四則計算の可能性について調べ, 帰納的に関係をとらえることができる。 ③日常生活や社会の事象における問題を, 数量に着目して, 正の数と負の数を利用して解決したり, 解決の過程をふり返って, 進んで新たな問題を見いだしたりすることができる。 ④素因数分解を利用して最大公約数や最小公倍数を求める方法を工夫して帰納的に見いだすことができる。	
			態	① 正の数と負の数のよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ② 正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③ 正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・自然数や素数に関心をもち, そのよさに気づいて粘り強く考えるときともに, 素因数分解を利用して公約数や公倍数を求めることに生かそうとしている。 ・正の数, 負の数のよさに気づいて粘り強く考えるときともに, 正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 正の数と負の数を利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりしている。	

6	2章 文字の式	1節 文字を使った式 2節 文字式の計算	知	<p>① 文字を用いることの必要性和意味を理解している。</p> <p>② 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知っている。</p> <p>③ 式の値の意味を理解し、文字の値を式に代入することで式の値を求めることができる。</p> <p>④ 簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。</p> <p>⑤ 項や係数の意味を理解している。</p> <p>⑥ 一次式と数の乗法と除法の計算をすることができる。</p> <p>⑦ 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。</p> <p>⑧ 数量の関係や法則などの等しい関係や大小関係を、等号や\leqや\geqなどの不等号を用いた式に表したり読み取ったりすることができる。</p>	<p>① 文字を使うことの必要性和意味を理解している。</p> <p>② 文字を使った式における乗法と除法の表し方を理解している。</p> <p>③ 代入や式の値の意味を十分に理解している。</p> <p>④ 1次式と1次式の加法、減法の計算の方法を十分に理解している。</p> <p>⑤ 項や係数、1次の項、1次式の意味を十分に理解している。</p> <p>⑥ 1次式と数との乗法と除法の計算の方法を十分に理解している。</p> <p>⑦ 文字を使った式の表し方の約束にしたがって、いろいろな数量の関係を的確に式で表すことができる。</p> <p>⑧ 数量の関係や法則などを式を使って表したり読み取ったりすることができる。</p>	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			思	<p>① 文字式に正の数や負の数を代入し式の値を求めることの意味を理解し、具体的な場面と関連付けて考察し、表現することができる。</p> <p>② 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる</p>	<p>① 日常生活や社会の事象と関連づけて、代入のしかたや式の値について考えることができる。</p> <p>② 1次式と1次式の加法、減法の計算の方法をこれまでに学んだ計算の方法と関連づけながら説明することができる。</p>	
			態	<p>① 文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考えようとしている。</p> <p>② 文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>③ 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>	<p>文字を使うことのよさに気づいて粘り強く考え、文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を使った式を利用して、問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりしている。</p>	
7						

8	3章 方程式	1節 方程式 2節 方程式の利用	知	① 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ② 等式の性質と移項の意味を理解している。 ③ 簡単な一元一次方程式を解くことができる。 ④ 比の値や比例式の意味を理解し、簡単な比例式を解くことができる。 ⑤ 事象の中の数量やその関係に着目して方程式や比例式をつくり、それを解くことで答えを導くことができる。	①方程式の必要性和意味及び方程式の解、方程式を解くことの意味を十分に理解している。 ②等式の性質及び等式の性質を使って方程式を変形しても、その解は変わらないことを十分に理解している。 ③簡単な1次方程式について、等式の性質を使った解き方を十分に理解している。 ④比例式の意味を十分に理解している。比の性質や比例式を解く手順を十分に理解している。比例式を手際よく解くことができる。 ⑤日常生活や社会の事象における問題の解決に、1次方程式を利用できることを十分に理解している。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
9		思	① 等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ② 既習の方程式と関連付けて、比例式を解く方法を考察し表現することができる。 ③ 一元一次方程式や比例式を具体的な場面で活用することができる。 ④ 求めた解や解法を振り返って、それらが適切であるかどうかを考察し表現することができる。	①等式の性質を使って方程式を解く方法を式の特徴をとらえて見いだすことができる。 ②比の性質をもとにして、比例式を手際よく解く方法を見いだすことができる。 ③日常生活や社会の事象の中の等しい関係に着目して数量関係をとらえ、図や表などを使って、1元1次方程式を利用して問題を解決することができる。 ④問題の中の数量やその関係を文字を使った式で表し、それをもとにしてつくった1次方程式を手際よく解くことができ、的確に解の吟味ができる。		
10		態	① 一元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ② 一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③ 一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	1元1次方程式のよさに気づいて粘り強く考え、1元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1元1次方程式を利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。		